



(1)「ネパール大地震」被災者救援金を募っています

先月号のにゅーすで、4月25日にネパールで発生した大地震により甚大な被害が生じていることをお伝えしましたが、その後の270回以上の余震、とりわけ5月12日のマグニチュード7.3の余震による被害も加わり、直近の報道(5月26日現在)によれば、これまでネパールで亡くなられた方は8,673名、全壊・崩壊した家屋は770千戸以上、支援を必要としている人は総人口の10%強の280万人、うち避難場所がない、食料がない等で早急な支援が必要な人は880千人に及んでいるとのこと。

被災者支援には、ネパール政府当局や関係機関に加え、国連機関や日本を含む22カ国からの軍隊、支援団体54チームが当たっています。ネパール軍が保有している飛行機4機、ヘリコプター15機は大量物資の輸送には適さず、インド、中国、アメリカなど9カ国が派遣している飛行機26機、ヘリコプター25機が救援物資の輸送を支援しています。



しかし、最も深刻な被害を受けたドラッカ、ヌワコット、シンドゥーパルパックなど14郡では、陸路が断たれている315千人、それも飛行機によるアクセスも難しい75千人に対する支援物資は、20千人程のポーターが荷を担いで届けているとのこと。



NGO・OXFAMの救援物資を担いで運ぶポーター

これまで、避難している人々に450千枚の防水テントが支給されましたが、まだ660千枚の支援が待たれています。

ネパール教育省が、全国にある公立学校のうち6,902校を暫定的に調べたところ、16,475教室が全壊、7,266教室が壁のひび割れ、12,613教室が軽微な損壊の被害を受けていることが判明し、生徒約370千名が未だ勉強に戻れない状態にあるとのこと。

私たちが支援しているパルパ郡は、被害が相対的に軽微であったため、被害状況がなかなか報道されませんが、僅かばかりの情報の中から纏めてみると以下のような状態です。(主に郡当局が5月16日現在把握している数値)

負傷者17名、家屋の全壊1523戸、一部損壊2946戸、壁ひび割れ10529戸、学校の損壊158校、移住せざるを得ない人7399名。

ネパール政府は、6月初旬に始まる雨季を前に、避難場所の確保が必要な世帯に15千ルピーを援助することを決めましたが、政治的不安定さ、統治の混乱、国家財政基盤の脆弱さなどにより、政府の救援施策には拙劣さが目立ち、本格的な復興には、国連機関や諸外国からの緊急支援に大きく依存せざるを得ないというのが現状のようです。

このような状況に鑑みて当法人も 5 月理事会での決定を経て、「ネパール大地震被災者救援金」を募る活動を始め、会員と「食卓の貯金箱」ご協力者 550 名に、過日ご協力のお願い状をお送りしました。既に、これまでに 150 名を超える方からご協力をいただいておりますが、より多くの方からのご協力を募りたく、会員の皆さまからご親族、ご友人、ご知人へのお呼び掛けをよろしく願いいたします。

募金振込先： 郵便振替口座 No. 00150-9-299635

口座名 NPO 法人いきいきフォーラム草の根支援

なお、振替票の通信欄に「ネパール救援口」と明記方お願いします。

(2) タイ「ひよこホーム」からの新学期の便り

いきいきフォーラムのみなさんへ

こんにちは。お元気ですか？おかげさまで ひよこホーム の子どもたちは みんな元気で山の家から帰ってきました。みんな新しいクラスを楽しみにしています。

でも、今年新しく入寮してきた二人（幼稚園生）は泣きながら学校へ行っています。今年は男の子が 12 人、女の子が 21 人、全員で 33 人です。

いつも日本の多くの方々にお世話になっています。どうもありがとうございます。皆さまのご協力で山の子どもたちは毎日勉強ができます。皆さまのご親切を心から感謝します。

God bless you all (皆さま、お大事に。) Yati



YatiSuthida 幼稚園 1 年生 (6 歳) 左

Yonlada 幼稚園 2 年生 (6 歳) 右

(日本文作成：湯川弓子さん)

お願い：5 月 21 日に会員の皆さま宛てに、「第 8 回総会の開催通知」及び「総会議案書」をお送り申し上げましたが、ご覧いただけましたでしょうか。総会へのご出欠のご返事、またご欠席の場合の委任状のご提出は、本日(5 月 30 日)が締切となっておりますが、まだご提出いただけない方は、至急事務局宛てお送りいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

《編集後記》ネパール大震災発生から 1 ヶ月を経過し、店からの商品強奪や支援物資の奪い合いの話がなく、立派な国民性だと思っておりますが、私たちが気付かない社会問題があるようです。最下層階級ダリットに対する支援措置の差別的な扱い(救援物資の不公平分配、避難場所での同居拒否など)、貧困層の人身売買の増加(実際に、政府は実の親と一緒にない子どもたちの移動を厳重に取り締まるよう指令を出している)などの問題が懸念されているとのこと。(編集担当：K T)

雨ならず萍(うきくさ)をさざめかすもの 富安風生 (1885~1979)

認定 NPO 法人 いきいきフォーラム草の根支援

〒113-0023 東京都文京区向丘 1-7-8 コミュニティスペースほのぼの内

TEL/FAX 03-3816-5346 E-Mail f-kusanone@tcn-catv.ne.jp

<http://www1.tcn-catv.ne.jp/ikiiki-kusanone>